広島市

広１　目視可能な弁栓類及び水管橋・添架管の修繕優先順位決定支援技術

求める技術：①

1　課題を抱える業務の内容

管路巡視点検の報告を基に、経験豊富な職員が、これまでの業務経験や知識を踏まえて優先順位を決定し、修繕を行っています。

2　課題の詳細

修繕の優先順位は、腐食や漏水の程度だけでなく、漏水が拡大した場合の経済的・社会的影響、過去の類似事例、管路更新計画等を総合的に判断しています。一方、どの情報を重視し、どのように優先順位を決定するかという判断過程の多くが、経験豊富な職員が有する経験・知識や暗黙知に依存しており、判断基準が十分に体系化・共有されていません。

今後、経験豊富な職員の退職等により、経験の浅い職員が修繕の優先順位を決定する場面が増加することが想定されます。そのため、判断のばらつき、修繕判断に要する時間の増加、優先すべき異常箇所の見落としなどが懸念されます。

3　こんな技術を求めています！

過去の点検結果、異常状況、写真、修繕履歴、管路情報、事故発生時の影響、管路更新計画及び職員の判断結果等を蓄積・分析し、弁栓類の修繕優先順位とその判断根拠を提示する技術

4　技術の導入により代替が期待される業務

弁栓類や水管橋・添架管の異常報告に係る関連情報の収集・確認及び修繕優先順位案の作成業務

5　事業規模・業務量

年間の異常報告件数：約２４０件/年